

- 成人向け映画の出演者に、性交場面の作成中はコンドームを使用することを義務付ける。
- 製作者に、出演者が性感染症関連のワクチン接種、テスト、健康診断を受ける費用を支払うことを義務付ける。
- 成人向け映画の製作者に、州の衛生ライセンスを取得し、映画製作現場にコンドーム要件を掲示することを義務付ける。
- 違反を犯した製作者、映画作成にかかわる金銭的利益を有する特定のディストリビューターおよび出演者、ならびに製作者が違反していると知りながら出演者を紹介したタレントエージェントに対し法的責任を課す。

- 州、製作者、すべての州民にあらゆる違反に対処することを許可する。

州議会アナリストによる州および地方自治体の財政への基本的な影響についての予測概要：

- 州政府および地方自治体の税歳入が、年間数百万ドル削減することが見込まれる。
- 成人向け映画製作者にライセンス取得を義務付け、規制し、職場の安全衛生規則を施行することで、州政府の歳入は年間百万ドル超の増加が予想される。これらのコストは、新しく制定する手数料歳入により一部相殺される。

立法部の分析家による分析

背景

California 州はアダルト映画産業の主な拠点である。

Los Angeles の San Fernando Valley (アダルト映画の長期制作所) や California 州のその他の場所で制作されている。(アダルト映画は「ポルノグラフィ」とも呼ばれる)。多数のメディア会社がここでアダルト映画を制作しており、そのほとんどは消費者がインターネット上で閲覧するものである。アダルト映画の出演者の中には制作、財務、またはコンテンツの配給を行う独自のビジネスを持つ者もいる。これらのビジネスには、出演者が自身のビデオや写真を宣伝するウェブサイトおよびソーシャルメディアプラットフォームも含まれる。

州法は労働者の安全衛生を保護する。 州法は職場での危害から従業員を保護するためにさまざまな要件を雇用主に課す。州の労働安全衛生部 (Cal/OSHA) は職場の危険から作業員を保護するために規制を強化する。州知事により指名される州役員会は、これらの職場安全衛生の規制の採択および更新の責任を負う。アダルト映画の撮影現場にいる出演者、およびディレクターやカメラオペレーターなどのその他の作業員は、そこでの作業中にさまざまな健康上および安全上の危険に晒される可能性がある。これらは典型的な健康上および安全上の問題(作業場の不適切な応急処置用品など)から、映画での演技中の、特に精液のように、感染の可能性のある体液との接触など、アダルト映画の撮影現場に特有のその他のリスクまでさまざまである。

Cal/OSHA はすでにアダルト映画におけるコンドームの使用を義務付けている。 Cal/OSHA は特定の体液への暴露を職場の危険とみなす。これは血液やその他の特定の体液との接触を通じて感染者から健康な人々に広がるクラミジア、B型肝炎やヒト免疫不全ウイルス (HIV) などの危険な性感染症 (STI) のためである。そのため、現行の州規制では通常雇用主に職場での特定の体液との接

触を防ぐために保護具を従業員に提供し、それを使用させることを義務付けている。これらの規制を強化する中で、Cal/OSHA は出演者にアダルト映画撮影現場でのコンドームの使用を義務付ける。Cal/OSHA は通常、告訴に応えることでこれらの規制を執行する。2014年から2015年の2年間の間に、Cal/OSHA は4つの制作会社をこれらの規制への違反で召喚した。

Los Angeles 郡法はアダルト映画におけるコンドームの使用を明確に義務付けている。

2012年11月に、Los Angeles 郡は、同郡内のアダルト映画撮影現場での性交時に出演者にコンドームの使用を明確に義務付ける投票法案(法案B)を承認した。

業界の慣行はさまざまである。 現在出演者にコンドームの使用を義務付けるかまたは許可しているアダルト映画制作会社もある。しかし、州や地方の規制にも関わらず、その他のプロデューサーや出演者は、アダルト映画をコンドームや他の保護具を使用せずに制作したがっている。この業界の一部では、代わりに出演者が危険な感染症にかかっていないことを確認する目的で一般的な性感染症テストが使用されている。

提案

図1に要約される通り、提案60はCalifornia州労働法に同州内のアダルト映画撮影現場における職場安全衛生に関連する追加要件を導入する。この法案は「出演者が実際に陰茎による膣または肛門への挿入を行う」アダルト映画撮影現場における性交に具体的に適用される。

コンドームを具体的に義務付けるために州の労働法を明確にする。 この法案は既存の職場安全衛生規則のいくつかの主な条項をアダルト映画産業に具体的に適用する方法を明確にする。この法案は(血液や特定のその他の体液との接触の予防に関する既存の一般的な職場安全衛生

図 1

提案 60 はアダルト映画産業に追加要件を導入する見込み

- California 州の労働法に特定のコンドーム要件を追加することにより、既存の職場安全衛生規則を明確にする。
- アダルト映画制作者は認可を得ること、またアダルト映画の撮影について州に情報を提供することを要件とする。
- アダルト映画の職場安全衛生の執行期限を延長する。
- いくつかのアダルト映画職場規則への違反行為について配給業者およびエージェントに責任を負わせられるようにする。
- 場合によってはアダルト映画の職場安全衛生への違反行為について California 州の居住者がプロデューサーに対し民事訴訟を起こせるようにする。

よう要請することができる。Cal/OSHA が限定された期間内に特定の行動を取らない場合は、その人物はアダルト映画制作者に対して民事訴訟を起こすことができる。その個人が勝訴した場合、彼または彼女はかかった訴訟費用を取り戻すことができ、その訴訟で被告が支払う罰金の 25 パーセントを受け取ることができる。残りは州に支払われる。この法案には、アダルト映画の出演者や従業員には、これらの個人が映画に財務上の利害を持たず、映画のプロデューサーではない場合には罰則が適用されないことが規定されている。

財政的影響

規制とは対照的に)、アダルト映画制作者が出演者にコンドームを提供しそれを使用させることを義務付ける具体的な要件を労働法に導入する。この法案には、消費者に配給される映画の中でコンドームが目に見える必要はないと記されている。ただし、アダルト映画制作者は出演者が実際にコンドームを使用したことを証明しなければならない。

アダルト映画制作者に関するその他の要件。 この提案はアダルト映画制作者に 2 年ごとに Cal/OSHA の認可を受け、およびアダルト映画を制作する際には必ず Cal/OSHA に通知することを義務付ける。アダルト映画制作者は Cal/OSHA にこれらの新たな要件を処理するための料金を支払う。さらに、アダルト映画制作者は出演者の仕事に関連する性感染症の予防ワクチン、性感染症テスト、および健康診断の費用を負担することを義務付けられる。この法案はアダルト映画制作者に新たな要件を遵守していることを示す記録を保管することも義務付ける。

執行期日の延長。 現行法では、Cal/OSHA は職場での違反時から調査を完了して召喚状を発行するまで、通常 6 ヶ月間の期限がある。この提案はこれらのアダルト映画の違反に関する執行活動を違反がみつかった日またはみつかるはずだった日から 1 年以内に開始できるようにする。

特定の職場安全衛生への違反に対する法的責任の拡張。 アダルト映画制作所に加え、この法案ではアダルト映画配給業者およびタレントエージェントにもこの法案により法律に導入される職場安全衛生規定への違反に対して法的責任が課されることになる。この法案はこれらの要件への違反に対する金銭的罰則も定める。

規制違反に対して個人が訴訟を起こすことができる。 この法案では、California 州居住者は誰でも Cal/OSHA にアダルト映画の職場安全衛生の違反疑惑について対処する

税収が低減する可能性。 業界関係者はこの法案の規制の拡大と要件の執行に対してさまざまな対応を取る可能性がある。アダルト映画産業の一部は法案を遵守するであろうが、その他は California 州の外に移転することを選ぶかもしれない。アダルト映画制作者の一部はここでアダルト映画の制作を続けながら、州と地方の法執行を逃れようと試みる可能性もある。California 州におけるアダルト映画の賃金と事業所得はおそらく減少すると思われる。その結果、この法案は州と地方の税収を年間数百万ドル減少させることになると見込まれる。

規制・執行費用と歳入。 現州政府はこの法律を実施するには年間 100 万ドル以上が必要になると見積もっている。費用の大半はアダルト映画制作に新たに課される料金により賄われる。罰金による歳入は州の一般財源に計上される。

その他の公共予算効果。 この法案は California 州政府にその他の財政的影響を与える可能性がある。例えば、アダルト映画産業の雇用の減少により、健康サービスプログラムまたは社会サービスプログラムに関する州経費または地方経費が僅かに増加する可能性がある。またこの法案は性感染症を減少させる可能性もあり、それにより公的資金による保健プログラムの州経費または地方経費を多少とも軽減させることになるかもしれない。全体として、公的資金による保健・社会サービスプログラムへの正味の影響は恐らく僅かなものであろう。

本法案に賛成または反対するために結成された委員会のリストについては、<http://www.sos.ca.gov/measure-contributions> をご覧ください。委員会の献金トップ 10 リストにアクセスするには、<http://www.fppc.ca.gov/transparency/top-contributors/nov-16-gen-v2.html> をご覧ください。